



キャンパス・コンソーシアム函館
合同公開講座

函館学 2024

第2回講義
講義資料

箱館に来た「北の黒船」

ラクスマン親子と大黒屋光大夫のはるかなる旅

講師：相原 秀起

元北海道新聞函館支社 報道部長

日時：令和6年6月24日（月）

13：30～15：00

会場：北海道教育大学函館校

主催：キャンパス・コンソーシアム函館

函館学

キャンパス・コンソーシアム函館 合同公開講座



相原 秀起 (あいはら ひでき)

元北海道新聞ユジノサハリンスク駐在、元函館支社報道部長

講師略歴

- 1962年 横浜市出身
- 1985年 北海道大学農学部卒業。北海道新聞社に入社
- 1991年 社会部などを経て根室支局、ビザなし渡航で北方領土取材（北方四島取材は計3回、全四島を取材）
- 1995年 東京支社政経部を経て、サハリン・ユジノサハリンスク支局に1年間駐在。同年5月に発生したサハリン北部地震を取材
- 2001年 函館支社報道部、05年まで勤務。1995年に起きた函館空港全日空機ハイジャック事件をテーマに長期連載
- 2013年 北海道新聞連載の年間企画「極東」取材班に加わり、北千島、カムチャツカ半島、アムール川流域、シベリア各地を取材
- 2015年 編集委員として夕刊で間宮林蔵を主人公に「極東はるかなる旅人 林蔵の道」（10回連載）、「日ロの懸け橋大黒屋光太夫」（11回連載）
- 2016年 函館支社報道部長
- 2018年 道新ぶんぶんクラブ事務局長
- 2020年 小樽支社長
- 2022年 同支社長で退社、現在は北海道ノンフィクション集団代表

主な著作としては、「新サハリン探検記」（1997年、社会評論社）、「ロシア極東 秘境を歩くー北千島、サハリン、オホーツク」（2016年、北海道大学出版会）、「一九四五 占守島の真実ー少年戦車兵が見た最後の戦場」（2017年、PHP研究所）、「追跡 間宮林蔵探検ルートーサハリン・アムール・択捉島へ」（2020年、北海道大学出版会）、「ANA857便を奪還せよー函館空港ハイジャック事件15時間の攻防」（2019年、柏艚舎）など。

「箱館に来た『北の黒船』

—ラクスマン親子と大黒屋光太夫のはるかなる旅—

米提督ペリーの箱館来航より61年前、江戸時代中期の寛政5年（1793年）7月、箱館に一隻の異国船「エカテリーナ号」がやって来た。ロシア初の遣日使節アダム・ラクスマン率いる使節団。

ラクスマンは、10年にわたるロシアでの旅を終えて帰国する日本の漂流民大黒屋光太夫と磯吉を伴っていた。

この突然の異国船に箱館は騒然となり、異国船を一目見ようという野次馬の小舟がエカテリーナ号を取り巻き、警護に当たる松前藩の役人は必死に棒を振るい、船に乗り込もうとする箱館の男たちを阻止したという。ラクスマン一行は、箱館から陸路、松前へと向かった。その行列は総勢400人にもなった。松前でラクスマンは、江戸幕府から派遣された幕府高官との会談に臨み、長崎への入港許可証を得て帰国した。以来二世紀余におよぶ日本とロシアの外交史がここで幕を開けた。

この日本派遣団を企画したのはアダムの父でありロシア極東イルクーツク在住の博物学者キリル・ラクスマンだった。キリルはフィンランド人で、現在のフィンランド東部の湖水地方にあるサボンリンナの生まれ。当時はイルクーツクを拠点にシベリアにおける植物や鉱物を研究し、ガラス工場を経営する優秀な経済人でもあった。

一方の大黒屋光太夫は、天明2年（1782年）12月、伊勢白子（三重県鈴鹿市）を出港した千石船の船頭だった。光太夫ら一行は嵐で遭難し、アリューシャン列島に漂着、カムチャツカ半島、シベリアのヤクーツクを経て、イルクーツクでキリルと出会い、助けられる。キリルは光太夫に同情し、当時の帝政ロシアの権力者エカテリーナ二世に直訴し、日本との通商交渉のために日本へ使節団を出す提案をして女帝の許可を得て、次男アダム率いる使節団は蝦夷地（北海道）へと向かった。

筆者はこの30年余、キリルとアダム親子、光太夫の想像を絶する旅をカムチャツカ半島からシベリア各地、サンクトペテルブルクに追いかけて、昨年9月にフィンランドのサボンリンナ市で開催されたキリル・ラクスマン特別展の開幕式にサボンリンナ市から招待され、念願のキリル生誕地を訪問した。現在、サボンリンナでは、日本とフィンランドの交流の夜明けともなったラクスマン親子と光太夫をテーマにした2年がかりの特別展や記念碑建立などさまざまな行事が開催されている。

今回の講演は、光太夫の10年にもわたるロシアでの漂泊の旅を追った長年の取材と、現地サボンリンナ市におけるキリルの顕彰活動などを紹介し、箱館と松前、根室など北海道とロシア極東を舞台にした三人の友情の物語と日本とフィンランドの交流の黎明期に迫る。